

発達障がい特性を背景にもつ、不適応行動とその支援  
—事例を通して学ぶ、特性・社会資源・家族支援—

思春期になってはじめて生じた不登校や家庭内暴力、触法行為などの行動の背景に発達障がい特性が疑われることがあります。我々支援者はそのとき、誰の相談をうけ、どこに支援をつなげたらよいのでしょうか。渦中にいるときにはなかなか冷静に判断できるものではありません。

そしてその方が成人期を迎えたら？未成年と成人では適用になる法律が異なります。

この度当センターでは国庫補助を受け、専門家向けの事例検討会を企画いたしました（平成26年度から同様の事例検討会を実施してきましたが、今年度からはバージョンアップし、実際の事例を講師が解説しながら、特性や社会資源を一つずつ確認します）。

ぜひこの機会に講師やコメンテーターの生の話に触れながら、共に学びあえればと思います。

定員となりましたので受付は終了いたしました。お申し込みいただき、ありがとうございました。